

脱炭素経営促進メールマガジン

技術開発公募、小水力水素、農地転用、アリアンツダイベストメント(2018年5月25日配信)

1. 脱炭素技術の開発実証の2次公募中です

平成30年6月18日(月)17時までです、ぜひご応募ください!

予算は1課題・単年度当たり3千万円～5億円程度(補助金は事業費ベース)、実施期間は原則3年間以内。

※応募書類の詳細はこちら

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/30_a43_1/30co2.html

※開発実証済・中の技術の情報はこちら

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cpttv_funds/index.html

2. 「小水力由来の再エネ水素導入拡大と北海道の地域特性に適した水素活用モデルの構築実証」開所式を行いました

代表事業者は、東芝エネルギーシステムズ株式会社、

共同事業者は、岩谷産業株式会社、です。

本事業は、北海道白糠町の「庶路ダム」に設置した小水力発電所による電力で水素を製造し、地域内の酪農施設や温水プール等において利活用する水素サプライチェーンの実証を行うものです。

小水力発電による電力を直接利用して水素を製造する実証事業は国内初です!

<http://www.env.go.jp/press/105529.html>

3. 営農型発電設備の設置に係る農地転用等の取扱いが変わります。

○一時転用期間(これまでは一律3年間)について、担い手が営農する場合や荒廃農地を活用する場合等には、10年間に延長。

○優良事例の周知

○地域の金融機関に対して営農型太陽光発電の農地転用許可の取扱い等の促進策について情報提供

○相談窓口(地方農政局)の設置

○営農不継続等の悪質なケースへの対応

http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/r_energy/180515.html

4. 今週末、フジテレビの環境ドキュメント「環境クライシス」の2作目が放映されます

5月26日(土)15:30～16:30

「日本で初めてCOP23で放送された本格ドキュメンタリー番組の第二弾。

モンゴルの馬や羊が次々と倒れていく“ゾド”の恐怖。トナカイの村に住む少女が描いた絵に託された思いとは？」(番組 HP より)

http://www.fujitv.co.jp/b_hp/kankyocrisis/index.html

5. 再エネプログラム資料の更新

3月20日に発表した環境省再エネ加速化最大化促進プログラムについて、資料をPDFで掲載していましたが、PPTで掲載しなおしました。

社内・庁内の各種検討などでお使いの際には、ぜひ、PDFからの画像貼り付けではなく、このPPT素材をそのまま加工編集してお使いください。

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/co2reduction.html>

6. 世界第2位の保険会社アリアンツ(独)が、石炭関連からの投資引き上げ(ダイベストメント)及び石炭関連の保険引き受けの段階的な停止を発表。

※世界第1位のAXA(仏)は公表済で、2社計の総資産は、ざっくり200兆円。

https://www.allianz.com/en/press/news/business/insurance/180504_allianz-announces-climate-protection-package/